



今村 定一

質問

2クラスとなった中学1年の現状について。1学期が終わった今でも学習面やクラス運営において、問題が生じてはいないと認識しているのか、また教育委員会としてもこの現状を認識して問題は無いとしているのか伺う。

教育長答弁

現状で承知しているところではMRI学力テストの結果は全国平均並である。しかし理解できている生徒とない生徒の差が激しい、特に理解力に劣ると思われる生徒が目立つ。1学期の期末テストや基礎テストの結果に反映している。個人差の激しいのが特徴でもある。生活面では基本的

中学1年を3クラスにせよ

質問

生活習慣が身に付いていない生徒、多動性注意欠陥障害なども懸念される生徒も増えている。こちらは2クラスだからという問題ではないが、学校、保護者と連携を密にして対応していきたい。教育委員会としては今後の学校訪問を通じて現状認識し、将来対応について検討をしていきたいと考えている。

教育長答弁

教育委員会として学校訪問をしていないことには疑問が残りますが、何故か、また教育長としては学校を通じてこの問題を協議しているのか。

質問

題として取り組んできましたので、答申後に実施の予定であります。直接の協議はしていませんが、学校内では協議されているようです。その中で人数が多くて大変だとの認識はあるようですが、3クラスになったら、個々の対応や先生の負担はより重くなると考えているようです。委員会の訪問を通じて十分な協議の中で方針を考えていきたい。

支援学級の充実を

町の障がい者教育の拠点を湯沢小学校に置いていることは承知している。学級の将来像をどのように描いているかが見えていない。保護者も町民も安心して見守れる姿を示すべきである。開設条件の定員、担任教諭

資格、認定講習の斡旋、介助員の研修等々の方向性についてどのように考えているのか。

教育長答弁

学級の維持については、増えてもいなくなることは無いので現状維持でいけると思う。担任教諭の資格について今後は支援学校教諭免許取得者が理想ですが現状では大変難しい。普通教諭の支援学校認定講習受講は、先生方個々の認識であって、町として命令は出来ない。介助員についても同じ考えであります。

質問

出来ない規定ばかりの話では、充実の観点からすれば寂しい限り。教育委員会として出来る規定を用い、先生や介助員に対して積極的に支援が出来るような町独自の支援策を講じてこそ、児童、保護者、社会から信頼されるもの。前向きな

考えを。

教育長答弁

先生や臨時職員の研修については現状では大変難しい課題であります。方向性については、今後協議をすすめる中で見出しに行きたいと考えています。



湯沢小学校

一般質問